

商社ルート通じ、全国規模で受注 「必要に応じて同行営業も展開」 向き合う業界は、航空機関連、光学系、医療分野・・・

紆余曲折を経て、アルファテクノロジーは2016年に設立された。創業の中嶋直文社長は「56年の人生の中で、様々な社会勉強をさせて頂いたが、得意とする部品加工業で、今後ともお役に立てたい」という思いで独立させて頂いた。今から10年近くになる当時を振り返る。

向き合う業界は、航空機(機内に設けられたタレット端末の枠組みなど)、レンズや筐体などの光学系、医療関連(人工骨などのインプラント)と幅広く、しかも受注先は全国にまたがっている。

「複数の商社さんを通じて仕事を受注し、必要に応じて同行営業にも関わっている」と言う。材質ではアルミが多く、ワークの大きさではA3/A4サイズに収まる。ヤマト便で送れるかどうか(中嶋社長)という基準があるらしい。

製造を担う松山製作グループ部長は、基本的に図面や3Dで指示したくが、場合によっては、加工サンプルを送っていただくこともある。1ロットが1個、10個の場合と1000個、2000個と数がまとまっていると種類の流通している。



安田工業にもスーパーG1チャックを装着、夜間運転の連続運転をサポート

設備はファナック「ロボドリル」中心に安田工業「PX30i」、ブラザー工業「スピリデオ」



ロボドリルで発生していた荒加工問題を解決したのがグリーンG1チャックだった

困っていた冷却装置部品(銅製)の粗加工音 グリーンG1チャック装着で「一挙に解決」

「複数の商社さんを通じて仕事を受注し、必要に応じて同行営業にも関わっている」と言う。材質ではアルミが多く、ワークの大きさではA3/A4サイズに収まる。ヤマト便で送れるかどうか(中嶋社長)という基準があるらしい。

中嶋社長は「周知は民家であり、音に対しては最も神経質になっていたが、ユキワ精工のツリーを活用することによって、解決することになった」と言う。

今ではブラザー工業、安田工業でスーパーG1チャックが活躍

アルファテクノロジー(東大阪市)

ユキワ精工ツリーリングユーザー訪問 中嶋社長、松山部長に聞く

が付いた安田工業のPX30i。昨年は旋削機に導入し、昨年からはブラザー工業のスピリデオをそれぞれ現場に据えた」と語る。

ユキワ精工との出会いは、酒巻社長と青年会議所で「先輩、後輩の関係」。是非、弊社のツリーリングを試してみたいという、お誘いがきっかけ。

松山部長は「2022年で、比較的受注量の多かった冷却装置部品(銅製の荒加工で発生する音に悩まされていた時期と重なって、切迫条件は同じでツリーリングだけ、ユキワ精工のグリーンG1チャックに変えてみた」ところ「加工音が極端に収まって、静かになった」と言う。

中嶋社長は「周知は民家であり、音に対しては最も神経質になっていたが、ユキワ精工のツリーを活用することによって、解決することになった」と言う。

中嶋社長は「周知は民家であり、音に対しては最も神経質になっていたが、ユキワ精工のツリーを活用することによって、解決することになった」と言う。

中嶋社長は「周知は民家であり、音に対しては最も神経質になっていたが、ユキワ精工のツリーを活用することによって、解決することになった」と言う。



特別賞 グッドデザイン・ものづくりデザイン賞受賞
中小企業庁長官賞

速くキレイに削れるecoなホルダ

精度をとことん突き詰めると、コレット式に迫り着く

ツリーリングシステム

グリーンG1チャック

YUKIWA ユキワ精工株式会社

本社・工場 / 〒947-0052 新潟県小千谷市千谷2600番地1 TEL.0258-81-1111(代) FAX.0258-81-1112
営業所 / 東京、名古屋、大阪、中国(上海)、U.S.A.

<http://www.yukiwa.co.jp/>
グリーンG1チャック

検索

